

経済・金融 フラッシュ

中国の10月工業生産： 懸念材料多いも、土俵で踏み止まる

経済調査部門 上席主任研究員 三尾 幸吉郎

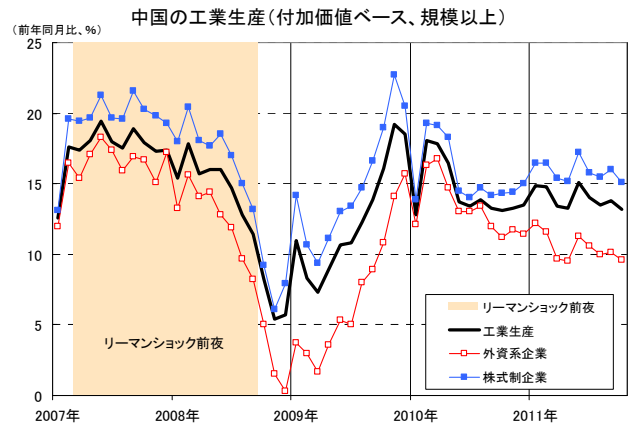
TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

1. 工業生産は緩やかに鈍化

中国国家統計局が発表した10月の工業生産（付加価値ベース、本業の年間売上高が2000万元以上の工業企業）は前年同月比13.2%増と、9月の同13.8%増を0.6ポイント下回った。企業分類別にみると、国有及び国有持株企業が同8.9%増で前月と比べて1.0ポイント低下、株式制企業が同15.1%増で前月と比べて0.9ポイント低下、外資系企業が同9.6%増で前月と比べて0.5ポイント低下と、いずれも緩やかな鈍化傾向を示しているが、リーマンショック前夜のような失速には至っていない（図表-1）。

業種別にみると（図表-2）、電気機械等製造が9月の前年同月比13.3%増から10月には同10.8%増と2.5ポイント低下して今年最低となったほか、高位の伸びを示していた衣類・靴・帽子製造も9月の伸び率を1.7ポイント下回った。他方、冴えない伸びが続いていた家具製造が10月には前年同月比15.5%増と9月の伸び率を2ポイント上回るなど回復する業種もあり、中国の工業生産全体は緩やかな鈍化に留まっている。

（図表-1）



（資料）CEIC

（注1）規模以上とは本業の年間売上高が2000万元以上の工業企業

（注2）リーマンショック前夜とは2007年4月のニューセンチュリーファイナンシャルの破綻から2008年9月迄

（図表-2）

工業生産（付加価値ベース、規模以上）

（単位：%）

	工業生産 (付加価値 ベース)	業種別								
		食品製造	衣類、靴、 帽子製造	家具製造	化学原料 ・製品製造	化学繊維 製造	金属製品	交通輸送 設備製造	電気機械 等製造	電力エネルギー 生産供給
2011年1-2月	14.9	15.7	17.4	20.5	16.4	13.2	20.0	12.8	16.6	13.0
2011年3月	14.8	17.1	15.2	18.3	14.7	10.6	19.8	13.7	17.3	13.5
2011年4月	13.4	14.3	14.4	14.5	13.9	6.7	17.2	9.7	14.3	11.7
2011年5月	13.3	21.1	15.9	10.7	13.0	8.5	17.8	7.8	14.2	10.9
2011年6月	15.1	20.7	16.7	14.9	15.8	10.7	19.3	10.7	16.2	11.3
2011年7月	14.0	16.6	16.6	13.2	14.9	10.4	17.9	11.2	12.9	10.5
2011年8月	13.5	14.1	16.6	13.4	13.9	14.1	16.0	12.4	13.4	7.7
2011年9月	13.8	17.6	16.1	13.5	14.8	9.1	16.8	12.2	13.3	8.9
2011年10月	13.2	17.0	14.4	15.5	13.1	9.5	15.7	11.3	10.8	8.0

（資料）CEIC

（注）規模以上とは本業の年間売上高が2000万元以上の工業企業

2. 懸念材料が多いも土俵際で踏み止まる

主要製品の生産をみると、自動車の生産は前年同月比1.3%増と小幅の伸びに留まった(図表-3)。内訳では、セダンは同4.4%増と9月に続き伸び率が鈍化したものの、MPV(多功能乗用車)は同68.6%増、SUV(動型多用途乗用車)は同47.3%増と好調な伸び率を示した。また、バス・コーチは同7.0%減、トラックなどの載荷車両も同20.4%減と、マイナス圏での推移が続いており、乗用車が底堅く推移するなかで商用車が足を引っ張るといった状況が続いている。家電の生産は前月に続き低調だった(図表-4)。冷蔵庫は9月の前年同月比16.9%増から10月は同26.9%増へ改善したものの、洗濯機は9月の同12.8%増から10月は同10.4%増へ小幅鈍化、カラーテレビは9月の同9.0%増から10月は同2.8%増へ大幅鈍化、エアコンは9月の同4.5%増から10月は同3.8%減となった。鋼材の生産は9月の前年同月比18.8%増から10月は同13.4%増へ5.4ポイント低下した。特に、汚職や事故に揺れた鉄道関連では鉄道用鋼材が同54.7%減と落ち込んだ。過去もぶれの大きい鋼材であるため一時的な落ち込みに終わる可能性もあるが、長期建設計画が縮小される可能性もでてきただけに今後も要注意だろう(図表-5)。また、10月の輸出向け出荷額は前年同月比13.6%増と僅かな鈍化に留まった(図表-6)。欧米経済が低迷を続ける中で、中国の生産にも失速懸念が高まっているものの、10月は土俵際で踏み止まったといえるだろう。

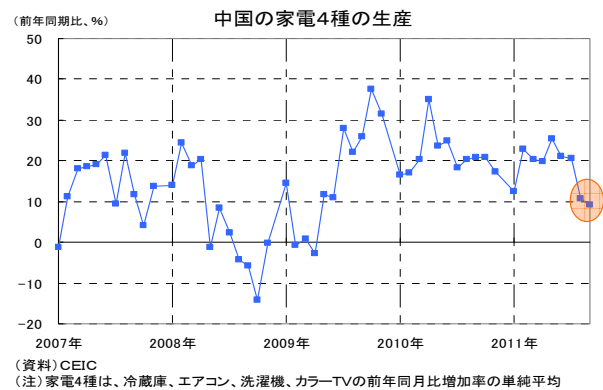
(図表-3)

自動車生産の内訳(前年同月比) (単位:%)

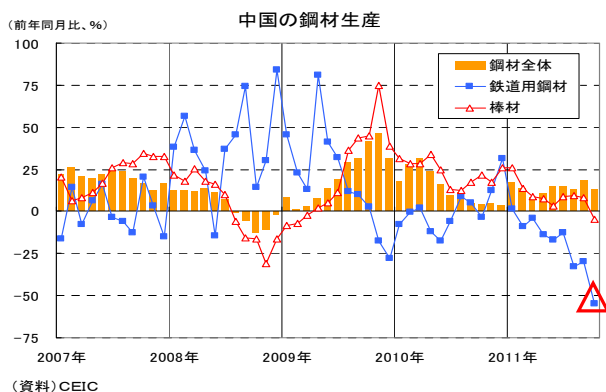
	自動車生産					
	セダン	MPV	SUV	バス・コーチ	載荷車両	
2011年1-2月	6.2	5.9	25.8	84.4	5.3	1.8
2011年3月	9.9	7.9	22.2	54.9	19.4	4.5
2011年4月	▲1.6	0.7	▲2.2	17.7	8.7	▲11.6
2011年5月	▲1.9	3.3	▲10.8	21.3	▲1.0	▲18.8
2011年6月	3.6	14.1	15.8	13.6	▲10.1	▲20.2
2011年7月	▲1.3	12.6	5.1	28.2	▲25.3	▲26.8
2011年8月	9.5	15.9	22.2	37.2	2.8	▲15.9
2011年9月	2.5	9.5	35.6	44.7	▲10.1	▲14.3
2011年10月	1.3	4.4	68.6	47.3	▲7.0	▲20.4

(資料)CEIC、中国国家統計局

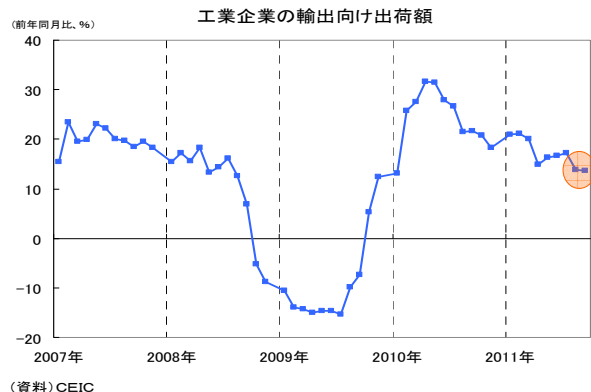
(図表-4)



(図表-5)



(図表-6)



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。